

- 1 運慶が快慶らと協力して制作した、奈良の東大寺南大門に安置されている有名な彫刻作品を何という？
- 2 鴨長明が著した『方丈記』のように、作者自身の見聞や感想などを自由な形式で書いた文章のジャンルを何という？
- 3 鎌倉時代の力強い武士の気風を反映し、東大寺南大門に安置されている、運慶らによって作られた有名な彫刻を何という？
- 4 鎌倉時代に書かれた文学作品『方丈記』の著者は誰？
- 5 鎌倉時代に宋から帰国し、臨済宗を日本に伝えた僧は誰？
- 6 鎌倉時代の武士の間で行われていた、子どもたちに領地を分け与える相続方法を何という？
- 7 鎌倉時代に、承久の乱で朝廷側と戦い、勝利を収めた一族を何という？
- 8 11世紀末、ローマ教皇の呼びかけで、イスラム勢力から聖地エルサレムを奪還するために組織された遠征軍を何という？
- 9 鴨長明が乱世における世の無常を記した、日本三大随筆の一つとされる作品を何という？
- 10 1221年に、朝廷の権力を取り戻すために鎌倉幕府を倒そうと挙兵した人物は誰？
- 11 武士の気風を反映し、写実的で力強い特徴を持つ、鎌倉時代に栄えた文化を何という？
- 12 モンゴル帝国が建国されたのは、日本ではどの時代にあたる？
- 13 鎌倉文化に見られる、武士の気風を反映した特徴を表現する言葉として「何々さ」とよく言われるものは？
- 14 琵琶法師により、当時の人々に語り伝えられた鎌倉時代の軍記物語を何という？
- 15 日本最初の武家法を制定した、鎌倉幕府の三代執権は誰？
- 16 鎌倉幕府の中央に置かれた主要な機関で、政所や侍所と並び、裁判などを担当した組織を何という？
- 17 鎌倉幕府において、御家人の統制や軍事・警察を担う「侍所」を設置した初代将軍は誰？
- 18 モンゴル帝国による日本侵攻の際に、火薬を用いた兵器が使用されたのはいつ頃？
- 19 執権の北条泰時が御成敗式目を制定したのは何年？
- 20 鎌倉幕府を倒し、1334年から天皇中心の政治を復活させようとした天皇は誰？
- 21 鎌倉時代に臨済宗を日本に伝えた僧侶は誰？
- 22 モンゴル帝国が中央アジアを征服し、世界規模で勢力を広げたのは何世紀？



① 書く

鉛筆で答えを書く

② 隠して言う

赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける

言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	東大寺南大門に配置された <u>金剛力士像</u> は、運慶と快慶らの工房が分担して短期間で完成させました。		<u>金剛力士像</u>	☐
2	<u>随筆</u> は、特定の形式にとらわれず、著者が感じたことを素直に綴る形式です。		<u>随筆</u>	☐
3	東大寺南大門に安置されている <u>金剛力士像</u> は、運慶や快慶らによって作られました。		<u>金剛力士像</u>	☐
4	<u>鴨長明</u> は、貴族社会から離れて隠遁生活を送った人物です。		<u>鴨長明</u>	☐
5	宋に渡り修行した <u>栄西</u> は、帰国後に禅宗の一つである臨済宗を伝えました。		<u>栄西</u>	☐
6	当時の武士社会では、家督を継ぐ長男だけでなく、他の兄弟にも領地を分ける <u>分割相続</u> が一般的でした。		<u>分割相続</u>	☐
7	承久の乱が起こると、執権・北条義時のもとで幕府軍は京都へ進撃しました。		<u>北条氏</u>	☐
8	遠征は複数回にわたって行われ、盾に十字の印をつけたことから「 <u>十字軍</u> 」と呼ばれます。		<u>十字軍</u>	☐
9	『 <u>方丈記</u> 』は、こうした激動の時代を生きた鴨長明による随筆です。		<u>方丈記</u>	☐
10	<u>後鳥羽上皇</u> は、北条義時追討の院宣を出し、倒幕を試みました。		<u>後鳥羽上皇</u>	☐
11	<u>鎌倉文化</u> は、武士の気風や、新しく起こった仏教の影響を受けています。		<u>鎌倉文化</u>	☐
12	チンギス・ハンはモンゴル帝国を建国し、強力な騎馬軍団を率いて次々と周辺地域を征服しました。		<u>鎌倉時代</u>	☐
13	「 <u>力強さ</u> 」とは、鎌倉文化を象徴するキーワードです。		<u>力強さ</u>	☐
14	『 <u>平家物語</u> 』は、平氏の滅亡までの過程を力強く描き出した文学作品です。		<u>平家物語</u>	☐
15	<u>北条泰時</u> は、連署の北条時房と共に「御成敗式目」を制定しました。		<u>北条泰時</u>	☐
16	<u>問注所</u> は、鎌倉幕府の中央機関の一つで、主に御家人の訴訟や裁判、書類の管理を担当しました。		<u>問注所</u>	☐
17	1180年に鎌倉幕府の主要な機関として「侍所」を設置しました。		<u>源頼朝</u>	☐
18	<u>十三世紀後半</u> の二度にわたる元寇において、元軍は日本軍とは異なる戦法をとりました。		<u>十三世紀後半</u>	☐
19	この法律は、それまでの習慣を基礎とし、武士社会の道理に基づいて裁判を行うための基準を明確にしたものです。		<u>1232</u>	☐
20	<u>後醍醐天皇</u> は足利尊氏や新田義貞ら有力武士の協力を得て鎌倉幕府を滅ぼしました。		<u>後醍醐天皇</u>	☐
21	<u>栄西</u> は二度中国へ渡り、そこで修行して帰国後に臨済宗を伝えました。		<u>栄西</u>	☐
22	1206年のモンゴル帝国建国から、 <u>13世紀</u> を通じてモンゴル軍は東西に遠征を行いました。		<u>13世紀</u>	☐

言えなかった用語ノート